

考察

1 「麹町小学校に対するアンケート調査」(全保護者対象)について

- ①多くの設問で「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が90%を越えている。
- ②設問7「学校は、いじめや不登校等について様々な配慮を行っている。」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が2ポイント増えている。学校でのいじめや不登校に対する取組が評価されている。
- ③設問9「学校は、放課後や長期休業中に補充学習などを行い、どの子にも基礎学力が身に付くようにしている。」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の割合が5%となっており、年々その割合が減ってきている。夏季休業中の学力育成教室や、一人一人に応じて個別に対応して指導してきたことが要因と考えられる。
- ④設問15「学校はボランティア活動や清掃活動など様々な奉仕活動を行っている。」について「あてはまる」「だいたいあてはまる」が若干増えている。
- ⑤ほとんどの項目で昨年と同じくらいの割合であるが、設問8, 10, 12, 13, 16, 19, 20, 21については、「あてはまる」と「だいたいあてはまる」の割合が4~5ポイント減少している。いろいろな要因が考えられるが、そのことを分析するとともに、一人一人の児童の立場に立った指導及び地域・保護者との協力体制の強化が必要であると考えられる。
- ⑥設問7, 12, 13, 14, 16, 17について、「わからない」の割合が10%以上と高い。また、昨年は、「わからない」の割合が10%以上だった設問が3つだったのに対し、今年は3つ増えている。学校として取り組んでいることをアピールしていく必要がある。

2 「授業や生活についてのアンケート調査」(5・6年児童)対象について

- ①設問1については、「体育」について「よくわかる」の割合が6ポイント増加した。校内研究を充実させた成果が表れた。また、「算数」について「あまりわからない」「わからない」の割合が減少し「よくわかる」が8ポイント増加した。少人数指導で習熟度別などにわかれて丁寧にわかりやすく指導を行った成果が表れている。
- ②設問2の項目2「授業中に使うプリントやワークシートなどの量はどうか。」の「ちょうどよい」の割合が9ポイント増加している。また、項目4の「授業には集中して取り組んでいますか。」の「いつも集中している」「ほとんど集中している」の割合も3ポイント増加し、「集中していない」の割合が減少した。項目6の「友達と教え合え合ったり、協力したりして学習していますか。」では、「よくできた」「まあまあできた」の割合が5ポイント増えた。以上の3点から児童が集中して学習を行えるような手立てを考え実践し、その結果、児童の学習への意欲が増したと考えられる。
- ③設問3の項目1「学校へ行くのは楽しいですか。」について「とても楽しい」「楽しい」の割合が10ポイント増加している。学校を楽しんでいる児童が増えてきたことは大変喜ばしいことである。しかし、項目2「学校へ行きたくないと思うことがありますか」については「ときどきある」「ある」という児童が35%に達している。学校へ行きたくないと思う児童の割合が多い一方、そんな児童でも学校に来れば楽しく過ごせしているという実態があるようだ。
- ④設問3の項目3「自分の悩みを誰に相談しますか。」について「先生」と答えた割合が9ポイント減少した。それに対して、家族に相談する児童が昨年と比べると増えている。また、「いない」と答えた児童の割合が5ポイント増えた。このことから、学校としてはどんなことでも相談できる雰囲気や環境を築いていく必要がある。
- ⑤設問3の項目4「一日にどれくらい家庭学習(予習・復習を含む)を行っていますか。」について2時間以上行おうという児童が50%近くいる一方、「ほとんどやらない」の割合が昨年度に比べると9ポイント増加している。家庭学習の在り方について、家庭と学校が連携して取り組んでいく必要がある。